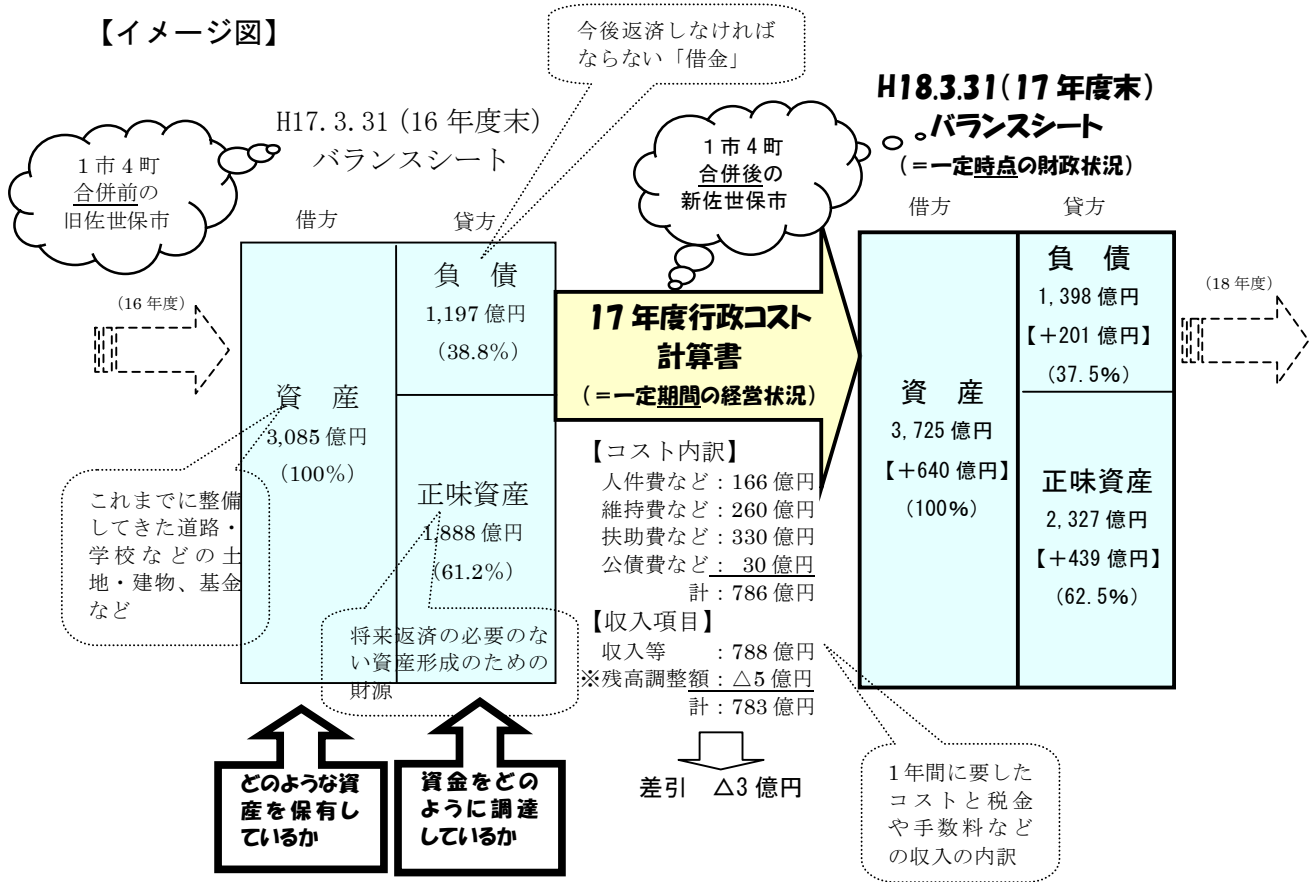


平成17年度佐世保市普通会計バランスシート・行政コスト計算書(概要版)

【イメージ図】



【バランスシート・行政コスト計算書に見る平成17年度の佐世保市の経営状況・財政状況は・・・】

- ◆ 資産（土地・建物・基金など）は合併等により640億円増加
 - ※ 主な増加要因は、合併町の道路、漁港、農道、学校施設などの増加
 - ※ その財源として、負債（今後返済を要するもの）201億円、正味資産（返済を要しないもの）439億円で購入
 - ⇒資産形成の財源に見る財政状況は、負債より正味資産の増加の方が大きく、将来世代への負担割合が減少したことから、負担割合の観点からは「合併」は改善要因
 - ⇒正味資産増加の要因は、国・県からの支出金（依存財源）によるもので、財源の自主性という観点では注意が必要
- ◆ 行政サービスの経費として、人件費168億円、扶助費176億円（参考：16年度161億円、15年度151億円）など786億円を投入し、一方収入は783億円で、差引3億円のマイナス
 - ※ 残高調整額（合併町からの会計区分の変更等により、その残高をコストとして算入した一時的なもの）の要因を除くと収入等の範囲で行政コストを賄っている
 - ⇒少子高齢化に伴う扶助費が毎年10億円超増加、収入も大幅な増加が見込めないか注意が必要

- ◆ 持続可能な財政運営を行っていくために、行政経営という視点で、資産形成と負債（借金）のバランスを考慮しながらコスト縮減に努め、自主財源確保策を講じていく必要がある